

2014年度

平和堂財団環境保全活動助成事業

<http://natsuhara-g.com>



夏原グラント

活動報告書



琵琶湖およびその流域の自然環境の保全活動を応援します

主催 公益財団法人 平和堂財団

協賛 株式会社 平和堂

ごあいさつ

公益財団法人平和堂財団は、2012年に平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」を創設して、NPO法人、市民活動団体、学生団体等が行う琵琶湖およびその流域の自然環境の保全活動に対して助成を開始しました。

2014年度には36団体からの応募がありました。夏原グラントとして3年目となり「新規」「継続2年目」「継続3年目」の団体が助成金での活動を行うこととなりました。

それぞれの団体の活動についてお互いがよく知るための団体交流会を開催しました。また、これまで夏原グラントに応募して採択されなかった団体の皆様を対象に「チャレンジプログラム」を実施し、応募を検討している団体対象の事前相談会も行いました。

このたび、2014年度の事業が滞りなく終了し「平和堂財団環境助成金事業 夏原グラント活動報告書」をお届けすることになりました。滋賀県・京都府内の環境に関わる多様な活動について46団体の成果を、本冊子で報告させていただきます。

公益財団法人平和堂財団



目次

助成金の概要、選考基準、スケジュール、選考委員、応募状況	1
事前説明会、団体交流会、チャレンジプログラム	2
公式サイト、平和堂店舗等用冊子、贈呈式記念写真	3
2014年度 助成事業・団体一覧	4-5
事業報告 新規採択21団体	6-12
事業報告 継続2年目15団体	13-17
事業報告 継続3年目10団体	18-21
コラム「表彰された事業の紹介」	21

助成金の概要

●名称

平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」
※グラント「grant」＝助成金

●対象となる事業

この助成金の対象となる事業は、滋賀県内・京都府内で実施される水質保全、森林・里山保全、水源の森保全、河川や湖等の環境保全、生物多様性維持等、内容が先進的で他の団体のモデルとなるものです。

- 環境保全に関する実践活動
広く市民の参加を得て行い、活動の普及が期待される水質保全活動・河川環境保全活動、その他自然環境の保全に関する実践活動
- 環境保全に関する教育啓発・人材育成活動
広く市民を対象とする環境保全に関するイベントの実施、学習会の開催、その他環境保全に関する啓発、知識の普及、人材育成の活動

- 環境保全に関する調査研究活動
(1) または(2)の活動推進に資する調査研究活動。
ただし、調査研究活動は実践活動に結びつくものとし、学術的な活動は対象としません。

●助成金の対象となる団体

事務所を滋賀県内・京都府内に有するか、または滋賀県内および京都府内で活動している環境保全活動に取り組んでいるNPO法人、市民活動団体、または学生団体

●助成金の額

- NPO法人、市民活動団体
1件あたり上限50万円
- 学生団体
1件あたり上限30万円

選考基準

- 滋賀県内・京都府内の環境保全や地域創造に寄与すると認められること。
- 他の団体のモデルとなるような先進的なテーマ設定や事業展開が期待されること。
- 県民・府民の自主的な環境保全活動につながる波及効果が期待されるなど、成果が広く市民に還元されること。
- 適切かつ効果的な事業手法がとられていること。

スケジュール

2013年	12月 2日	募集開始	説明会の開始
2014年	1月 31日	募集締め切り	
	3月 上旬	第1次選考会	
	3月 22日	第2次選考会・公開プレゼンテーション	
	4月 19日	贈呈式 (クサツエストピアホテル)	
	4月 1日から翌3月 31日まで	各団体の助成金事業実施期間	

選考委員

仁連 孝昭	滋賀県立大学理事・副学長
西野 麻知子	びわこ成蹊スポーツ大学教授
山口 洋典	立命館大学サービスラーニングセンター准教授
永井 美佳	大阪ボランティア協会事務局次長
山田 脩治	株式会社 ヤマプラ代表取締役 (敬称略・順不同)

応募状況

新規事業応募数	36事業	うち助成21事業
継続事業応募数	29事業	うち助成25事業
助成総額	13,910,000円	
団体の活動分野	実践活動	46団体
	調査研究活動	1団体
	*実践も併せて行うため重複	



2014年度 募集要項

事前相談会

「夏原グラント」への応募を考えている団体を対象に、事前相談会を開催しました。応募書類の書き方、アピールできる事業企画書の書き方、予算書の書き方、公開プレゼンテーションなどについて、個別相談で対応しました。相談には、夏原グラントの運営を行っているしがNPOセンターのスタッフがあたりました。

開催日 11月30日(土) 米原文化産業交流会館・近江八幡市勤労者福祉センター(滋賀県)
 12月1日(日) 長岡京市中央生涯学習センター・文化パルク城陽(京都府)
 12月4日(水) Flag三条きょうとNPOセンター事務所(京都府)
 12月11日(金) 大津市市民活動センター(滋賀県)

団体交流会

夏原グラントの取り組みや日頃の活動、環境活動に関することなど、団体のみなさんが自由な意見を出し合っていた場として団体交流会を、新規・継続2年目団体を対象に4会場(京都市、草津市、近江八幡市、彦根市)、継続3年目団体を対象に1会場(草津市)で開催しました。



チャレンジプログラム

助成金には総額の枠があり、応募多数の場合は、せっかくいい事業で応募いただいても不採択となってしまうケースがあります。また、もう一工夫で採択にたどり着いたのではと思われる事業もあります。

そこで6月22日、規模の小さい事業を提案し、その場で助成が決まる「夏原グラント チャレンジプログラム」を実施しました。対象団体は、過去に夏原グラントに応募したものの採択とならなかった団体で、今回は14団体にご参加いただきました。

当日、午前中は事業企画や予算作成についてのレクチャーを講座形式で行い、午後から、それを元にチャレンジプログラム用事業の提案書を作成していただきました。ほぼ一日という長時間にもかかわらず、皆さん非常に熱心に集中して取り組んでいただきました。

参加団体相互による投票で、高得点の事業から10団体が採択となりました。採択団体にはその場で5万円の助成金を渡し、年度内に事業を実施し報告していただきました。そして2015年度の夏原グラントにも応募していただきました。



公式サイト

■夏原グラント公式サイト
<http://www.natsuhara-g.com/>

公式サイトでは、夏原グラントの概要や助成の実績など、詳しく掲載しています。

応募したい団体向けのQ&Aや、助成金募集期間の情報などもあります。募集要項、申請書類、採択団体になると使用していただくロゴマークなども、このサイトからダウンロードできます。

また、事務局スタッフが現場を訪問し取材した活動の様子を、豊富な写真とともにプロジェクト活動レポートのコーナーで紹介しています。

ぜひアクセスしてください。



平和堂店舗等用冊子

夏原グラントを環境保全や市民活動に関心のある人だけでなく、もっと広く多くの人に知ってもらうための広報ツールとしての冊子を2014年度初めて作成しました。

A5サイズでイラストなどをふんだんに使い、手に取りやすく、内容も平易な文章で作成しています。平和堂大型店舗20店に100部ずつ配架したほか、自然関連施設などにも配布し、高評価をいただきました。



贈呈式記念写真



2014年4月19日 クサツエストピアホテルにて

2014 年度採択事業紹介

2014年度に夏原グラントの助成を受けた団体の活動を紹介します。「夏原グラントで実施した事業の紹介」「環境や地域への貢献」「助成金が活かしたと思う点」を聞いてまとめています。

新規21事業、継続2年目15事業、継続3年目10事業の計46事業を掲載しています。



2014 年度助成事業・団体一覧

新規助成 21 事業

地域	事業名	団体名
滋賀	伊吹山自然再生・保全事業	伊吹山ネイチャーネットワーク
滋賀	中世城跡（鎌刃城）から里山再生	番場の歴史を知り明日を考える会
滋賀	今だからこそ、びわ湖のために石けんについて学び推進する事業	愛のまちエコライフ
滋賀	親子の食育菜園～はたけっこ～	特定非営利活動法人 百菜劇場
滋賀	「自然に学ぶ」環境教育プログラムの開発	特定非営利活動法人 アスクネイチャー・ジャパン
滋賀	BDFをつくる・楽しむ・広げる 高校生プロジェクト	NPO 法人 菜の花プロジェクトネットワーク
滋賀	平和川・黒橋川をきれいにする事業	金田学区まちづくり協議会
滋賀	大学生の力で外来水生植物から琵琶湖を取り戻そう	特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会
滋賀	河川環境美化作戦	竜王清流会
滋賀	棚田保全ボランティア活動	熊野・棚田を育てる会
滋賀	「甲賀木の駅プロジェクト」	甲賀愛林クラブ
滋賀	琵琶湖を守る「いきものみつけファーム滋賀」	山内エコクラブ
滋賀	葛川細川町の景観の復元と伝承を行うプロジェクト	特定非営利活動法人 NPO 子どもネットワークセンター天気村
滋賀	かやぐらしプロジェクト	Reco. lab
滋賀	里山体験隊	特定非営利活動法人 絵本による街づくりの会
滋賀	街中美化運動はなのみち	街中美化運動はなのみち
京都	水源の里「古屋」の宝物再発見	古屋集落自主応援組織「古屋でがんばろう会」
京都	台風18号(2013年9月)により倒壊した思子淵神社の再建プロジェクト	大見新村プロジェクト
京都	いかだに乗ってみよう～山・川・まちのつながり～	特定非営利活動法人 プロジェクト保津川
京都	はれザウルスの森の再生と涵養～カブトムシの棲む森へ～	特定非営利活動法人 おとくにパオ
京都	古川クリーンキャンペーン	古川を美しくする会

継続2年目助成 15 事業

地域	事業名	団体名
滋賀	カスミサンショウウオの保護に向けた生息場所（保護池）設置事業	田村山生き物ネットワーク
滋賀	天然更新試験地食害防止活動と植生調査	山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会
滋賀	余呉トレイル林道整備事業	余呉トレイルクラブ
滋賀	「綿づくり」を通して「人の輪」を広げよう	おうみこっとなつむぎ
滋賀	竹林・コナラ林整備とナラ枯れ地への植樹で里山再生	八幡山の景観を良くする会
滋賀	環境保全に関する教育啓発、人材育成活動	琵琶湖お魚探検隊
滋賀	守ろう赤野井湾！オオバナミズキンバイ除去大作戦	認定 NPO 法人 びわこ豊穰の郷
滋賀	琵琶湖と暮らしのつながりの再生（みんなで作る！暮らしの体験の場）	特定非営利活動法人 碧いびわ湖
滋賀	里山保全及び山林資源の有効利用とその促進事業	市民活動支援レッツ栗東
滋賀	和邇川流域の環境再生 - ホタル・シジミ・稚鮎の群れの復活を目指して -	しがの里山や川を美しくする会
滋賀	みんなで守るホタルと川	ホタルの学校
滋賀	ウォーターステーション琵琶の会環境啓発活動事業	ウォーターステーション琵琶の会
京都	鴨川源流の森林環境保全のための 市民参加型森づくりイベントの実施	理想の森プロジェクト
京都	京都市・深泥池における池畔林伐採実験のモニタリング	深泥池池畔林研究会
京都	ドンダリの森作り	久保川と天王山の森を守る会

継続3年目助成 10 事業

地域	事業名	団体名
滋賀	ペレットストーブの普及で水源の郷を守る活動	特定非営利活動法人 妙理の里
滋賀	源氏ホタル「特別天然記念物指定地」の環境（ホタルンロード）整備と 浚渫河川へのカワニナの放流事業及びカワニナ養殖水路改修	ニナプロジェクト・ホタルン（カワニナ里親の会）
滋賀	千鳥ヶ岡公園（雨壺山）の荒廃緑地を「里山」に再生	彦根雨壺山・護林会
滋賀	びわ湖の森の間伐材買取事業	一般社団法人 kikitto
滋賀	きぬがさ山系の登山道の整備作業と子ども達の里山での自然体験学習	きぬがさ山「里山に親しむ会」
滋賀	桜並木の整備による憩いの散策路づくり	白鳥川の景観を良くする会
滋賀	佐久良川周辺里地での貴重動植物の持続可能な保護活動の探索	特定非営利活動法人 蒲生野考現倶楽部
滋賀	こんこん山の里山再生と森保全ワークショップ	特定非営利活動法人 子育て研究会
滋賀	コバノミツバツツジの郷づくり	子ども活動サポーター会
滋賀	巨木を育む豊かな森と水源の郷をつくるトキノキプロジェクト	巨木と水源の郷をまもる会

伊吹山自然再生・保全事業

伊吹山ネイチャーネットワーク

活動場所：伊吹山とその周辺
所在地：滋賀県彦根市正法寺町 686-11
設立年：2008年3月
会員数：46名
HP：http://www.ds-j.com/nature/ibuki/



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

調査・実践＝伊吹山ドライブウェイ沿道の外来植物調査を実施。データに基づき、自然環境にダメージをもたらす外来種を選定し駆除作業を行いました。また、希少植物保護区間を指定し防護網を設置しました。小冊子の発行＝「伊吹山を知る“やさしい”地学の本」を発行するため、広く産学官の関係者に呼びかけ、研究者や大学生等16名が執筆し、約50余名の協力者が集まりました。

「環境や地域への貢献」

1. 植生調査と外来植物駆除で植生環境が改良され、本来の植生に再生に向かっていきます。また、防護網設置で保護区域への踏み込みが著しく減少しました。
2. 小冊子発行後、県内全図書館、全国の関連博物館等に配布しました。また、県内の報道機関が本書発行を記事として掲載し話題となりました。

「助成金が活きたと思う点」

助成金の大半は、冊子制作経費として活用しました。本書は、内容をより充実するためデザイナーやイラストレーターに外注し、予想以上の出費となりましたが、助成金が得られたおかげで出版にこぎ着けることができました。

中世城跡（鎌刃城）から里山再生 番場の歴史を知り明日を考える会

活動場所：米原市番場一帯
所在地：滋賀県米原市番場 1982
設立年：1992年
会員数：21名
HP：http://blog.livedoor.jp/kamahajyo/
連絡先：090-5047-0153（泉峰←）



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

里山に人が入らなくなり荒廃が進んでいることから、里山に埋もれる中世の城跡に人々を呼び込み、里山の再生の重要性に気づいていただき、保全の行動に移る動きを創り出すため、間伐材を利用した鎌刃城大櫓の復元イベントを子どもたちの参画の下で実施しました。同時に子どもたちの林業体験を実施し、森林保全の重要性について学んでいただきました。

「環境や地域への貢献」

城跡を訪れた人々に里山の植生の変化や獣害による森林被害などの状況を説明し、里山保全の重要性の理解を深めていただきました。里山や麓では野生獣の被害が深刻で集落と里山が断絶されていましたが、城跡へ人々が足を運ぶ機会が増え獣（シカ、イノシシ、サル）との緩衝地の効果が始まりました。子どもたちには樹木の伐採や丸太切り等の体験で里山保全と歴史遺産についての理解を深めていただきました。

「助成金が活きたと思う点」

「城跡からの里山再生」は歴史文化と環境の側面を持つ事業ですが、双方がうまくコラボレーションでき、多くの方々に里山への関心を持っていただけたと思っています。自然保護団体とも連携し、里山の文化的遺産と自然資源を結び付け、人々に開かれた里山として楽しみながら活用できる方向性が見えてきました。

今だからこそ、びわ湖のために せっけんについて学び推進する事業

愛のまちエコライフ

活動場所：あいとうエコプラザ菜の花館
所在地：滋賀県東近江市妹町 70 番地
会員数：16名
連絡先：0749-46-8100（あいとうエコプラザ菜の花館）



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

今年度は、廃食油せっけんの新しい世代のユーザー開拓のため、試供品・チラシ・ラベルを刷新し、PRをおこないました。イベント時にはアンケートの実施も行い、廃食油せっけんの認知度と、利用促進のためのヒントを得ました。また一般に向けた廃食油せっけんづくり体験や、愛しゃぼんキャラバンの実施で、多くの方にせっけん運動について知ってもらえる機会をつくりました。

「環境や地域への貢献」

中学生及び一般市民を対象としたせっけんづくり体験講座を行い、廃食油せっけんを通じて、地域の環境に対する意識を高めることができました。活動を展開することで、使用済みの廃食油をせっけんにし、そのせっけんを使用し、びわ湖の水質保全につなげることができました。

「助成金が活きたと思う点」

愛東地域で30年続けてきた愛のまちエコライフでしたが、メンバーの拡がりや、地域外への拡がりがない点が課題でした。この度の助成金で、新たな世代や、愛東外の地域への働きかけをするきっかけをつくることができ、せっけん運動の次世代への継承という大きな目標に一步近づくことができました。

親子の食育菜園 ～はたけっこ～

特定非営利活動法人 百菜劇場

活動場所：滋賀県近江八幡市
所在地：滋賀県近江八幡市
設立年：2006年
HP：http://www.100seeds.net



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

畑で遊び、作物を育て、それをいただくことを通じて、子どもがいきもの多様性と、いのちと自然とのつながりを実感する体験ができる環境づくりをすることを目的に毎月1回開催しました。具体的な活動は、以下の通りです。
・種まきや苗の植え付け、草取りなど季節の畑仕事（季節によって、虫の観察会やしめ縄づくりや味噌仕込みなども体験）
・収穫した野菜でお昼ご飯（スープやサラダ）づくり
・みんなでのお昼ご飯

「環境や地域への貢献」

畑では農薬や化学肥料を使用せず野菜を育てたり、そのような環境で育った野菜を食べていたので、自然と環境に対する参加者の意識が高まったと思っています。また、はたけっこに参加することでお友達ができた方も多かったようです。

「助成金が活きたと思う点」

子どもが楽しみながらも安全に学んでもらうために、専門家の指導や、わかりやすいテキストが必要ではありましたが、そのための費用が参加費だけではまかなえない状況でした。この助成金をいただけたのは本当に助かりました。

「自然に学ぶ」環境教育プログラムの開発

特定非営利活動法人 アスクネイチャー・ジャパン

活動場所：滋賀県を中心に全国
所在地：滋賀県近江八幡市
設立年：2011年
会員数：法人21、個人20
HP：http://www.asknature.jp
連絡先：info@asknature.jp



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

自然は「知恵の宝庫」。私たちは、その知恵に学ぶ新しい暮らしと社会を築くための活動の一環として、2014年度から小学生対象の環境教育プログラム、「自然に学ぼう！いきものタンケン隊」シリーズの開発に取り組みました。1月には身近な植物のタネを題材に、自然界の生きものが環境やお互いに関わり合いながら生きていることを学ぶ45分間のプログラムを公開し、小学生とその保護者にご参加いただきました。

「環境や地域への貢献」

小学生は講師の話に真剣に耳を傾け、実験では自分で考えて色々と試したりしながら、最後まで集中力を欠かさず参加してくれました。終了後に行ったアンケートでも概ねご好評をいただき、「自然のしくみを体験的に学ぶ」というプログラムのねらいが達成できた手応えを得ています。

「助成金が活きたと思う点」

おかげさまで、プログラムを無料で公開することができましたので、多くの小学生などにご参加いただくことができました。また、助成金を指導にご協力いただいた専門家へのお礼や資料購入にも充てることができ、スタッフに知識経験を蓄積。一年間の活動の結果、自ら講師となってプログラムを行うことができるようになり、今後、自立して事業を行っていくために意義ある一年となりました。

BDFをつくる・楽しむ・広げる 高校生プロジェクト

NPO法人 菜の花プロジェクトネットワーク

活動場所：滋賀県から全国へ。韓国・中国・チェルノブイリ等海外でも展開
所在地：滋賀県近江八幡市安土町下豊浦3番地
設立年：2006年1月
会員数：500名
HP：http://www.nanohana.gr.jp



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

1. 八幡工業高校生による、小学生への出前授業は金田小学校・島小学校・老蘇小学校の4年生を対象に延べ7回実施しました。菜の花プロジェクトの学習とBDF（注）製造とバイオカート試乗の出前授業を実施しました。高校生が主体となって出前授業プログラムを策定し、小学生・教員はBDF製造の実験とカート試乗のコラボで楽しい授業を経験しました。
2. 沖島の漁師・島民学習会を実践しました。（1回）3. BDFを学ぶ、可能性を知る、楽しむ（講演と指導）では、①油藤商事(株)山裕史氏より「多様な油回収システムとBDF利用」をテーマに、②山田周生氏より②「バイオディーゼルクールで地球一周」をテーマに、子ども達や高校生に講演と指導をしていただきました。
4. 八幡工業高校生がBDFで発電した電気による手作りのイルミネーションを製作しました。

「環境や地域への貢献」

八幡工業高校内から金田地区、沖島地区へ廃食用油リサイクルの意識づけの入口に立つことができました。加えて、地域組織や漁協を通し具体的な第一歩となりました。

「助成金が活きたと思う点」

高校生が主体となり、市内の子ども達や沖島島民のみなさんを通して、地域連携の糸口をつかみ、「廃食用油回収サイクル」・「BDF」に関心を高めるきっかけになりました。この助成金制度のおかげで次年度は、更に「広げる」プロジェクトを実践できると考えています。

(注) BDF (Bio Diesel Fuel) とは 軽油代替燃料、バイオマス燃料のこと

平和川・黒橋川をきれいにする事業 金田学区まちづくり協議会

活動場所：金田コミュニティセンター
所在地：滋賀県近江八幡市金剛寺町 375
設立年：2010年
会員数：3,630世帯
連絡先：金田コミュニティセンター
TEL:0748-37-7255,FAX:0748-37-7277



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
市街地を流れる平和川・黒橋川をきれいにするため河川清掃やクリーンウォーキング、花いっぱい運動を通して環境美化を図るとともに、川の中の生き物観察や水質検査の実施により住民に現状を知っていただく中で、環境保全意識と川への愛着及び親水意識の高揚に努めています。後を絶たない不法投棄に対しては、機関誌の発行や標識・看板を設置して啓発に努めています。

「環境や地域への貢献」
河川に関心と愛着を持つ住民が増え、この取り組みに参加する層も広がり、草の繁茂やごみのポイ捨ても減少しています。長年、近隣自治会ができなかったことに取り組んだことにより、近隣自治会にも勇気を与え、私たちの取り組みに共同して参加いただいています。

「助成金が活きたと思う点」
これまでは河川清掃のみの取り組みでしたが、助成金をいただく中で幅広い活動が展開でき、事業参加者に喜びと達成感が生まれています。また助成金の活用により色々な形での協力者も増えました。また花を並べたいとの思いはあったものの実現までに至らなかったところ、助成金で表現することができ、近隣自治会に影響を与えることとなり花いっぱい運動が自治会事業として位置付けられるようになりました。

大学生の力で 外来水生植物から琵琶湖を取り戻そう 特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会

活動場所：琵琶湖南湖全域（草津市、大津市、守山市）
所在地：東京都世田谷区※関西事務所：大阪府高槻市
設立年：1993年
会員数：約2750名※2015年3月末時点
HP：http://www.ivusa.com/



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
琵琶湖南湖全体に急速に大繁殖しているオオバナミズキンバイなどの外来水生植物の除去活動を、学生から発案、他の方々の協力を呼びかけて実施。また各種フォーラム等での展示を通して、本活動と琵琶湖の外来種問題をより多くの方に知ってもらうために広報活動を実施しました。

「環境や地域への貢献」
1年間で除去活動を計12回行い、延べ1237名と約170tのオオバナミズキンバイを除去することができました。また広報活動では立命館大学「エシカル+R」にてシルバー賞、特別賞（立命館大学サービスラーニングセンター）、淡海の川づくりフォーラムでは準GP受賞をしました。こうした発表や受賞を通じて地域住民の琵琶湖に対する環境問題に関心を高めることができました。

「助成金が活きたと思う点」
学生が環境に目を向けて改善のために何ができるのか考える機会が増えたのが一番大きいです。私達は活動を行うため、事前にオオバナミズキンバイの生育状況の下見を行います。その際の旅費交通費を助成金から支出できることで、より多くの学生が参加することができ、この問題の認知を広げることができました。また広報活動ではうちわやクリアファイルなど新しい広報ツールを製作することができるようになりました。滋賀大学の学生の一人は「今までできなかった広報活動ができるので、何をしようかと考えるとわくわくする」と話してくれました。学生のみならず、より多くの方にこの問題についての認識を広めていくためにも、今後も学生ならではの視点から発信し続けようと思います。

河川環境美化作戦 竜王清流会

活動場所：滋賀県蒲生郡竜王町（一級河川善光寺川）
所在地：滋賀県蒲生郡竜王町
設立年：2008年
会員数：約300名



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
名神高速道路竜王インターチェンジから国道8号を越え、日野川に至る全長4.7kmの除草作業、清掃作業を「河川環境美化作戦」と題し、春5日間・秋5日間づつ活動を行う中で、ボランティアで参加いただいている方々への昼食の炊き出しを行ったり、皆さんにきれいにいただいた善光寺川での自然観察会や魚つかみ、流しそうめんなどを実施しました。

「環境や地域への貢献」
この作戦を続けることは、京阪神の水がめである琵琶湖へ注ぐ善光寺川の環境美化はもとより、毎年毎年繁茂する雑草をこまめに除去することで、並走する国道477号を利用される通行者の視界確保に貢献しています。

「助成金が活きたと思う点」
夏原グラントの助成により、厳しい作業のあとにお母さん方のカレーを提供することで、同じ目的を持った参加者相互の交流が図られ、充実した時間となっています。また、自然観察会などを通じて子どもたちや保護者の方々に環境美化の大切さを実感していただきました。

棚田保全ボランティア活動 熊野・棚田を育てる会

活動場所：熊野地先の田んぼ
所在地：滋賀県日野町熊野 町道平子 / 熊野線沿い
設立年：2012年（活動は2008年より）
会員数：17名



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
①用水路整備～田植え、稲刈りを終え収穫祭までの一貫作業
②復田に向けての準備作業 a 獣害柵の設置 b 田んぼの小石拾い c 田んぼの草刈り

「環境や地域への貢献」
地域行事への参加（棚田で収穫した稲わら）熊野神社行事 12月第3日 曜日大鳥居の注連縄、1月4日山の神行事の大縄、1月12日（成人の日）弓引き式的的縄、および手編みのコモ

「助成金が活きたと思う点」
夏原グラントの助成金をもらえるようになってから最低限の棚田保全ができるようになりました。例えば、手作業での草取りから除草剤の使用により除草の精度向上や、もうすこし肥料が必要と思われることに対し使うことができ、生産高の向上に成果がでたことなどです。

「甲賀木の駅プロジェクト」 甲賀愛林クラブ

活動場所：滋賀県甲賀市甲賀町
所在地：滋賀県甲賀市甲賀町
設立年：2014年4月1日
（母体の甲賀愛林クラブは1974年設立）
会員数：運営委員20名 木材出荷者29名
商店登録者15名 計64名



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
これまで利用されずに捨てられていた間伐材および林地残材（プロが間伐を行った後に残っている木材）を軽トラとチェーンソーを使って素人山主や森林ボランティアの手によって搬出し、森林保全と木材資源の有効利用を進めています。木材の対価として地域通貨「モリ券」を発行し、地域商店の活性化にも貢献することができました。

「環境や地域への貢献」
活動実施場所である甲賀町は、典型的な中山間地域で面積の約7割が森林です。他の地域と同じく荒廃した森林も多くあります。森林保全を進めるうえで最も大きな課題は、山主さんの山離れです。山に関心がなくなる原因は様々ありますが、まずは山に関心を持ってもらう必要があります。甲賀木の駅PJでは、ただボランティアとして間伐等を行うのではなく、地域通貨を利用して、地域への貢献感覚や所有林から価値が生まれる、という新しさを感じる仕組みを作りました。多くの方に参加していただき、整備が進んでいくとともに地域全体の関心が高まることで山主さんたちの所有林に対する関心も呼び起こされてきています。

「助成金が活きたと思う点」
当事業の仕組みを運営していくための資金として大いに役立ちました。

琵琶湖を守る「いきものみっけファーム滋賀」 山内エコクラブ

活動場所：滋賀県甲賀市土山町黒川
所在地：滋賀県甲賀市土山町黒川
設立年：2009年4月
会員数：10名
HP：http://ikimonomikke-shiga.com/



「夏原グラントで実施した事業の紹介」
山内エコクラブでは、琵琶湖の水質を保全し、私たちの健康を守るために、生きものが生息する安心・安全なファームづくりを推進しています。そして、食と生命の循環を基調とした環境学習と体験活動「いきものみっけ寺子屋」は、5月から1月まで毎月実施し、農家や地域の方学識者といきものの観察だけでなく、「私たちが食べるもの」は、どこからきているか？「いのちのつながり・循環」であることに気づく場作りをしました。

「助成金が活きたと思う点」
夏原グラント助成金では、県内の学芸員数名の協力により、「いきものみっけ観察シートA3版」の下敷きを作りました。生きものの種類別、何月くらいに観察できるか？を写真で表示し、小さな子どもも絵合わせできるものになりました。里山には、多くの植物もあります。希少な生き物が生息するためには、ひとりひとりの環境に対する意識とそれが安全な食につながることを学んでいます。

葛川細川町の景観の復元と伝承を行うプロジェクト

特定非営利活動法人
NPO子どもネットワークセンター天気村

活動場所：滋賀県大津市葛川細川町
所在地：滋賀県草津市東草津1丁目1-15
設立年：1999年4月
会員数：12名
HP：http://www.biwako.ne.jp/~nt-tenki/



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

かつてこの場所にあった水車の復元と子ども達にわかりやすく、説明するための紙芝居を作成し、細川のような小さな地域の暮らしが日本の持続可能な社会であったことを伝えるための手段としてシンボルとしました。また水車や紙芝居を通して私たちが行う「暮らし遺産活動」の中で、昔の人の知恵や技術を伝えていくことが大切だと考えています。

「環境や地域への貢献」

環境活動として新しく作るのではなく、先人の知恵を時代にあった使い方で引き継ぎ、持続可能な社会を自らの手でエネルギーを作り出す体験の場が必要であると考えます。細川のような過疎が進む地域で自然環境の保全、地域文化の継承などの課題に対して、子ども達や若い親が関われる場づくりとして、水、森、山、川でつくる「水縁遊空間」の活動の機会を増やしました。

「助成金が活きたと思う点」

若者の力で、地域の価値や人のつながりを再生し、環境問題、地域の抱える課題を解決していくため、古民家Zuttoが持続可能な社会創造に向かって地域と一緒に関わって関わる人を増やし、豊かな自然環境、未来をつくるための拠点となりました。

かやぐらしプロジェクト

Reco.lab

活動場所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス
所在地：〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1
設立年：2004年6月24日
会員数：8名
HP：http://recolab.com/
連絡先：recolabinfo@gmail.com



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

立命館大学びわこ・くさつキャンパス（以下、BKC）内にある自然林の保全・整備活動を自然林の保護を担当している方々の指導のもと行い、主にカヤネズミの保全活動を行っています。2014年度は自然林内での外来植物の駆除と木の間引きを行うことにより自然林の日当たりをよくすることによって植物がより成長しやすい環境づくりを行いました。その他にも自然林にある調整湖の外来魚の駆除作業、自然林内での野鳥観察、BKCの学園祭および草津市子ども環境会議での広報活動を行いました。

「環境や地域への貢献」

希少動物であるカヤネズミの新たな生息地の創造、外来動植物の駆除による自然林内に形成されている生態系の保全、自然環境の保全に興味のある人材の育成、そして、立命館大学が自然林で環境保全活動をしていることを広報することによって興味を持つきっかけ作りによる意識の改善ができました。

「助成金が活きたと思う点」

整備している自然林には調整池も存在し、外来魚の駆除を行っている。助成金をいただいたことによって購入が可能になった釣竿や胴長を購入することができました。これからの購入によって、今までよりも作業の効率性を向上させることに成功し、調整池に住む生物の保護が可能になりました。

里山体験隊

特定非営利活動法人
絵本による街づくりの会

活動場所：滋賀県高島市マキノ町
所在地：滋賀県高島市マキノ町石庭299番地の1
設立年：2004年
会員数：約45名



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

絵本による街づくりの会は、「絵本から広がる 出会い・体験・感動」を合言葉に、絵本を通して「子どもの笑顔があふれる街に」「豊かな心を育む街に」をめざして、2004年10月に設立。絵本原画展や講座、子ども自然体験遊び塾、絵本のある居場所「かめの部屋」、湖西民話倶楽部等々、様々な活動を行っています。特に、子ども自然体験遊び塾は、絵本に描かれた世界をそのまま体験できる場が、すぐ身近にあるというフィールドを活かし、四季折々豊かな里山環境を体感できる活動として、設立時から毎年実施。体験活動を入口に絵本に出会う工夫をした活動です。この活動をベースにして企画した「里山体験隊」が、夏原グラントの助成対象事業として認めていただき実施できたことは、読書活動と思われがちな絵本の活動が、実は環境保全とも深く繋がっていることを認めていただけたと大変嬉しく思っています。

「里山体験隊」では、春には昔ながらの田植えを、夏のキャンプでは、琵琶湖に流れ込む知内川で生き物観察・雑木林での昆虫採り・炭だし体験を、秋には手刈りで稲刈りを行いました。これらの体験活動を通して、子どもたちは、人間と自然との関わりについて実感し、人間が関わることで里山の自然を残していくことができ、里山環境を維持していく重要性を、楽しかった思い出とともに、心に刻むことができた意義深い活動となりました。

街中美化運動はなのみち

街中美化運動はなのみち

活動場所：JR近江今津駅東口より琵琶湖周航の歌会館、観光船乗り場までの道
所在地：滋賀県 高島市まちづくりセンター事務局
設立年：2004年
会員数：12名



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

今津で一番、人の往来が多いJR近江今津駅東口広場より観光船乗り場までの約200mを「はなのみち」として、フラワーロードをつくりあげ、観光客及び地域の人々に潤いを与え、憩いの場として提供することにより「まちづくり」の一端を担うことを目的に11年前から活動を始めました。4年前までは単独で活動してきましたが、最近になりようやく社会福祉協議会のボランティア各位の協力を得て、メンバーも10名を超え、活動も広がりました。今後、メンバーも増えてきたことから、活動範囲を拡大して、日本一きれいな町づくりを目指したいと思っています。

「環境や地域への貢献」

目的は花づくりを通して助け合い、地域と密着を図り、潤いのある環境づくり、街づくりを推進するとともに訪れる人達が心とむ場所として提供することにあります。近年は観光客や地元の人にも共感を得ており、花の季節に訪れる人も増えています。

「助成金が活きたと思う点」

はつぴや安全コーンの購入により、安全の確保と同時にグループの一体感が深まりました。

水源の里「古屋」の宝物再発見

古屋集落自主応援組織
「古屋でがんばろう会」

活動場所：京都府綾部市睦寄町古屋地内
所在地：京都府綾部市睦寄町古屋23 古屋公民館内
設立年：2011年
会員数：正会員32名
HP：facebook「古屋でがんばろう会」
連絡先：koyadeganbaro-kai@emobile.ne.jp



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

古屋集落住民皆さんの村を消滅させないとの思いに沿って、京都府や綾部市との連携の下「古屋でがんばろう会」会員及び、企業・大学・一般ボランティア有志等の協力、参加を得て主に次の4つの目標に対して年間を通して活動を行いました。・古屋集落地内及び、周囲の山内の自然環境の維持保全のための作業道の整備補修。・水源とその流域の環境整備・流木や倒木、ごみ等の除去。・「薪の木」の保全と、とちの実の収穫への一連の活動（生育状況の調査・獣害の防止・ネット柵の設置・補修・特産品の販売促進等）・都市住民及び、一般ボランティア等の活動への参加拡大と交流（定住者の確保へ）

「環境や地域への貢献」

山間部の水源の里を守り、廃村の危機を乗り越えて故郷に住み続ける事には大きな意味があるといえます。それは、都市部住民の安全や健康を守る大切な生活資本の根幹として、さらに、同じような状況にある地域や住民への良きモデルケースとなり得ると考えます。「古屋」の取り組みは今、やればできるとの思いを着実に発信し拡がってきていると感じています。

「助成金が活きたと思う点」

先ず、活動に対する外部からの肯定的且つ客観的な評価が得られたという事にあると思います。その事から活動自体への自信と今後の方向性が明確化できたことです。そして、その思いを関係者一同が共有化し、貴重な助成金を活動の原資として活用して行くことで古屋集落の存続への思いを将来的に具体的な活動を通して繋げていくことができるのではないか、という手ごたえを感じています。これらの点に助成金が大きく活きたのではないかと思います。

台風18号（2013年9月）により倒壊した 思子淵神社の再建プロジェクト

大見新村プロジェクト

活動場所：京都市左京区大原大見町 および 京都市内
所在地：京都市左京区大原大見町231
設立年：2012年
会員数：30名
HP：www.facebook.com/oomishinson
連絡先：newoomi@gmail.com



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

琵琶湖に流れこむ安曇川流域には筏流しの神さま、シコブチさんを祀る神社が十数社、点在しています。京都市左京区大原大見という集落は、鯖街道の最短ルート「針畑越え」の経路地で、安曇川の源流域のひとつです。その大見にある思子淵神社は2013年9月、台風18号により大見川へ倒壊、2014年、元村民の方たちやボランティアの方々を合わせ、社殿の引き上げ・解体作業を行いました。

「環境や地域への貢献」

合わせて、水質検査、ごみ拾いイベント「ごみまつり」など環境整備事業、近隣集落の神社を巡る「シコブチツアー」、大見の大桜と紅葉を楽しむ「秋のハイキング！」という催しを通じて、「山深い、水が生まれるところ」へ足を運んでもらう機会を作りました。助成金によりレンタカー費用の負担が軽くなったことで、より多くの人たちに「源流域・大見」へ足を運んでいただけました。また、facebook・新聞記事・ラジオ出演などを通じて、それぞれに親和性の高い人々に活動を知ってもらうことができました。

「助成金が活きたと思う点」

シコブチ神社の倒壊を通じて、百井・久多という京都市北部地域、高島市内で活動する方々と関係を築くことになったのは「怪我の功名」「人間万事塞翁が馬」といった状況です。今後も「神社再建を通じた源流域の環境保全」への視点を意識して活動していきたいです。

いかだにのってみよう ～山・川・まちのつながり～

特定非営利活動法人プロジェクト保津川

活動場所：保津川流域
所在地：京都府亀岡市
設立年：2007年
会員数：106人・団体
HP：http://hozugawa.org
連絡先：0771-20-2569,info@hozugawa.org



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

私たちは、千年以上の歴史を持ちながら60年前に途絶えた保津川の筏流しの復活に取り組んでいます。その一環として、今回、夏原グラントの助成を受けて親子向けの体験イベントを実施しました。9月に実施した「いかだにのってみよう」では、保津川の河原で昔ながらの技法で筏を組み上げ、試乗会を開催しました。当日は好天にも恵まれ、370人を超える来場者があり、「ほんまもん」の筏の乗り心地を体験していただきました。また、新しい取り組みとして11月から2月にかけて3回シリーズで行った「いかだをつくってみよう」では、山で木を伐り出し、鍛冶屋さんで筏組みに使う「カン」という金具を作り、そして現役船頭さんの指導のもと実物とまったく同じ方法でミニチュア筏を組み、という一連の作業を体験しました。

「助成金が生きたとと思う点」

かつての保津川は、山と川、まちが筏流しという目に見える形でつながっていました。また、筏が流れる川は、魚も行き来できる川でもありました。筏を流すために人々は川を守り、結果として良好な環境も保たれてきました。今回の取り組みを通じて、地域に伝わる文化と環境を次の世代に受け継ぐための新しい挑戦ができたことが何よりの収穫となりました。

はれザウルスの森の再生と涵養 ～カブトムシの棲む森へ～

特定非営利活動法人 おとくにパオ

活動場所：京都 西山の一角（私有地を賃借）
所在地：京都府長岡京市開田4丁目1-12 西和荘1階2号
設立年：2000年
会員数：世帯会員数 180世帯
HP：http://www.ne.jp/asahi/otokuni/pao
※リニューアルHP作成中につき
まもなく上記アドレスは変更になります。



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

1998年から続いている毎月の野外活動に加え、源流探しや、キャンプ、秋の祭りなど、子どもたちとともに大いに山を楽しむことができました。また並行して、専門家を招き森の歴史や現状、そしてこれからの森づくりについて学び、アドバイスをを受け、森の整備と再生のための新たな取り組みが始まりました。このいわゆる森づくりは10年、20年先を見据えた取り組みですが、2014年度はクヌギの苗木を植えるための環境づくりとして、まず実験的にフィールド内の20m×20mの1区画を区切って皆伐、整地に取り組みしました。また、フィールド内に多くある、立ち枯れて倒壊の危険がある木を伐採し、森の整備もしました。

「環境や地域への貢献」

この活動に賛同し、家族での参加、特にお父さんたちの参加が増えてきました。子どもも大人も一緒に学び、目的を共有し主体的に取り組むことで活動が充実し、自然を愛し、環境を守る意識を持った次世代の子どもたちが育っていくと考えます。また地域の自然保護団体との協同活動も充実してきました。

「助成金が生きたとと思う点」

この助成金を活用することで、年間を通して講師を招いて学んだり作業指導を受けることができ、またスタッフを募集したり、森林整備の作業のための備品や装備、資材を購入することができました。

古川クリーンキャンペーン

古川を美しくする会

活動場所：京都府久世郡久御山町古川橋から
巨椋池排水機場まで（木津川から宇治川まで）
毎月第一土曜日午前中。
所在地：京都府久世郡久御山町（林～東一口）
設立年：2005年
会員数：約200名



「夏原グラントで実施した事業」

活動のシンボルとして「ピブス」「職」新作。活動中の状況が把握でき、一般住民の方たちへの宣伝効果抜群である。ピブスは、使用会員の方に持ち帰ってもらい自己管理してもらうことで一体感を生み出しているようです。

「環境や地域への貢献」

久御山町を縦断する「古川」は、由緒がある川で『日本書紀』に出てくる日本最初の運河の遺構、栗隈の大溝（くりくまのおおうなで）ではないとも言われています。昔は、古川であみ船を浮かべて船遊びをしていた時代もあった！子ども達が水遊びに興じた川！そうです。清流だからこそ、川遊びスポットになっていたのでしょうか。そんな地域に根ざした古川を取り戻し、きれいに子どもたちの時代に引き継ぎたい。そう思って活動してきました。発足は、汚い・汚れた・川。何とかならないか？と行政に文句を言うばかりでは解決できない。地元住民・自治会が自分たちの手で立ち上げた会です。「古川橋から巨椋池排水機場まで」約8.5キロ！が活動範囲です。去年の秋にはシジミの子を見つけました。夏には蛍が飛び交い、子どもたちが遊ぶ親水公園として町民に愛される古川にしていきたいのが夢です。今年から、地元久御山高校の「自然科学部」が参加・協力してくれています。今年（平成27年6月）で10年がすぎました。無理なく続けられる古川クリーンキャンペーンが、環境保全や美化、そして文化面から、地域の連帯を生み、多面的な活動を通してこれからも古川を大切にすることこそが、わが町久御山の活性化に繋がることを期待しています。

「助成金が活きたと思う点」

ピブスとのぼりができたこと。活動中の姿が遠くからでも目立ちます！好評です。感謝！感謝！の活動です。